

目標達成計画

作成日: 平成22年4月14日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	年々重度化が進み、ホームでの見取りを希望されているご家族が多い中、事業所としての指針が確立できていない為ご家族、医療機関、職員との連携が強固な形になっていない。	事業所として本人、家族の希望に添った援助が最大限できる事の見極め、説明を行ない職員のレベルアップを図る。	家族を含め医療機関との話し合いを状況に応じて行う。終末期介護の研修を行なってもらえる様医療機関に働きかける。	3ヵ月
2	6	興奮してしまい、周辺症状が出てしまう利用者の方の対応が適切でない場合がある。(身体拘束)	身体拘束をしなくても、安全に生活できる環境や穏かに過ごせる状況をつくる。	職員全員が共有の認識をもって介護にあたる様検討会等をこまめに行い、必要な研修会に多くの機会参加する。	6ヵ月
3	26	ケア会議を行っても記録に残っていない為、ケアプランに職員の意見が反映されない事がある。	本人、家族はもちろん職員のアイデアが反映され、本人がより良く生活していける。	職員が意見を発表しやすく、きちんと記録を残せる様にケア会議の形を考え、より良いケア会議にする。	1ヵ月
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。